

# 建築家と建てる家を、 身近に、手軽に

エ  
ッ  
ラ  
ハ  
ウ  
ス  
**esora-house**

## 建築家×高性能住宅で 唯一無二の我が家を

エソラハウスが提案する家は、全国各地に広がっている「R+house」ネットワークのアトリ建築家とともに作り上げられる。デザイン性や住み心地はもちろん、プラスチックの感動を与える唯一無二のプランをアトリ建築家がプランニングし、長い年月を経ても資産価値のある高気密・高断熱の家をエソラハウスが建築してくれるのだ。

同社では「お施主様が快適に過ごせる家」をコンセプトに、設備に頼らず建物自体の性能を上げて、極限まで消費エネルギーを減らす家づくりに取り組んでいる。そこで重要になるのが高気密・高断熱。例えるなら魔法瓶のような家で、光熱費を抑え、一年中快適に暮らすことができる。家を建てた人の不満が多いのが「暑い、寒い、結露がひどい」だが、高気密・高断熱ですべてクリアできると言う。「当社で家を建てた方には絶対に後悔させたくない、長期間に渡り喜んでもらうためには、裏切らない家を作らなければならぬ(岡本専務談)」。そんな想いを胸に、「二組二組と真剣に向き合った家づくりを行っている」。

R+houseのデザインコンテストで大賞を受賞した松茂町・Y様邸。詳しくは次のページをチェックしよう。





2階へと続く階段下にカウンターテーブルを設置。空間を有効活用している。



タイルの壁がかっこいい小上がりの畳スペース。子どもの昼寝スペースや、友人がベンチ代わりにして使用している。



2階廊下。奥様が1階で家事をしていても、2階にいる子どもたちと吹き抜けを通して会話できるのも魅力。



「エンラハウスで建てて良かったです!」と頬を緩めるY様ファミリー。



スタイリッシュな佇まいで一際目を引くY様邸。正面に全く窓がないことに驚き!



高級ホテルのような存在感を放つ洗面スペース。



施主インタビュー

白ベースの上質なりビング・ダイニング。2階の廊下部分にのみ、ご主人が好きな紫色をアクセントとして取り入れた。

## デザインコンテストで 大賞を受賞!

### ◆松茂町・Y様邸

当初は中古マンションの購入を考えていたY様だったが、エンラハウスが開催している「後悔しないための賢い家づくり勉強会」に参加したのを機に、考えがガラリと変わったと言う。「家の高気密・高断熱のことは知りませんでした。住宅性能によって住み心地がまったく違うことが分かり、これは…家を新しく建てたほうが良いかな、と思いました」。その後10社以上のハウスメーカーや地元工務店を訪問したそうだが、かっこいい外観、奥様が便利な家事動線、子どもたちが自由に走り回れる空間、そして高気密・高断熱を予算内で実現してくれるのがエンラハウスだと確証を持ち、同社に依頼することに決めた。「営業の国見さんが他社の営業よりも飛び抜けて良かったのも大きな要因です。どんな質問にもdayレスポンスで好感が持てました」とご主人は語る。

エンラハウスの家づくりは、設計の窓口であるアトリエ建築家のプランニングから始まる。Y様は、建築実例を見て「かっこいい!」と思っていた憧れの建築家、木内浩司氏(神奈川県、words work craft代表)が担当に。「提案いただいた家は、想像を遥かに超えていました! 私たちの要望やライフスタイルの入ったプランニングの内容と彼の想いを

伝えてくれて、非常に良かったです」。建つ前に自分たちの家を具体的にイメージできたことで、安心して任せられたと言う。

完成したマイホームで暮らし始めて1年4カ月、Y様に住み心地を聞いてみた。「夏は窓を開けておくだけで涼しいですね。7月中旬くらいまでエアコンをつけなくても大丈夫です。風の通りまでよく考えて設計してくれたおかげです。冬は暑いくらいです(笑)」。また、光熱費がかなり安いとも教えてくれた。太陽光パネルを屋根に乗せていて、平均で毎月1万5000円もプラスになっているのだとか! 「家を建てた後も定期的に訪問してくれて、メンテナンスやアフターサービスもしっかりとしてくれます。それと、我が家の写真をhouseのデザインコンテストに応募して、大賞を受賞したと聞きました。全国で226社も加盟しているhouseの新築住宅の中で一番に選ばれたということは、私たちにとっても荣誉なことです。エンラハウスさんと建築家の木内さんのコンビで間違いなかったです!」。

### ■松茂町・Y様邸

竣工/2017年1月  
構造/木造在来工法  
延床面積/125.16㎡  
設計/アトリエ建築家・木内浩司  
施行/esora-house





齊藤真二さんがプランニングした阿南市「中庭テラスの家」。



「Atelier if」一級建築士の齊藤真二さん。全国各地で年間約40棟の家をプランニングしている。

建築家インタビュー

その家族だけの快適さや感動を追求した家を  
プランニングしたい

エソラハウスの家づくりは、全国各地に広がっている「R+house」ネットワークに所属するアトリエ建築家に夢や憧れを語ることから始まる。アトリエ建築家がヒアリングを元にデザイン性＆住み心地はもちろん、プラスチックの感動を与える唯一無二のマイホームをプランニングし、そして、長い年月を経ても資産価値のある高気密・高断熱の家をエソラハウスが建築してくれるのだ。

「その家族じゃないと合わない家。そんな家をプランニングしたいと思っています」。横浜市に事務所を構える「Atelier if」一級建築士の齊藤真二さんは語る。彼は、R+houseネットワークに所属するアトリエ建築家の1人。エソラハウスとともに、徳島ではこれまでに6棟の家のプランニングに携わってきた。「極端な話をする、あるお施主様の家を他の人が見て、それほど感動しなくてもいいと思っています。お施主様によって心地いいと感じるポイントは当然異なりますから。その家族だけの、独自性のある快適さや感動を追求した家をプランニングすることが重要なんです」。そう語る齊藤さんは、プランニングする前の打ち合わせを非常に大切にしている。「打ち合わせは楽しくないダメだと思っています。僕との

会話が楽しくなければ、プランニングするのは僕じゃない方がいい。家づくりはフィーリングが何より大事です。お互いの感性が合い、ひいては僕を信用したくないと家づくりはできません」。施主の心に寄り添った家を提供したいと考える齊藤さんの優しさや徹底したプロ意識が伺える。緊張感のある会話よりも、楽しい会話の中から施主の本音が出てくる。すると、その人の家の軸や個性となるキーワードが飛び出してくると言う。何LDKでどんな間取りにするのか？ではなく「キッチンで何をしたい？」「リビングで何をしたい？」などを細かく聞き取り、その施主だけの「解」を見つけていくのだ。

エソラハウスが加盟する「R+house」の家づくりの魅力について聞くと、「プランニングの面で言えば、全国各地で腕を磨いている建築家の中からお施主様に適した建築家を選ばれるというレジンジの広さではないでしょうか。そして、実際の建築は未来志向で施工に取り組んでいるエソラハウスさんが行います。僕たち建築家とエソラハウスさんはお互いにフィットする家づくりをするため、お互いにいい緊張感を持ってお施主様に寄り添いながら仕事に取り組んでいます」。



エソラハウスのスタッフたち。アトリエ建築家と協力しながら、「お施主様が快適に過ごせる家」をコンセプトに設備に頼らず建物自体の性能を上げ、極限まで消費エネルギーを減らす家づくりに取り組んでいる。



専務インタビュー



エソラハウス専務取締役の岡本充律さん。

家づくりで後悔しないために！

「私は今から14年前にマイホームを建てました。社会に出て3年目の頃です。2級建築士の資格を取得していたので自分でプラン設計をし、建築は父親に依頼しました。でも、完成した家は正直最悪でした(笑)。住み心地が悪く、冬は寒い。家は本来、住まい手の生活スタイルや趣味嗜好に合わせたものでなければならぬはずなのに、作り手が施工しやすい間取りや作りになっていました。妻からは「寒い！ずっとこの家で住まないかんのじゃ…」と言われ、本当に悪かったなと今

でも反省しています」とエソラハウス専務取締役の岡本充律さん。

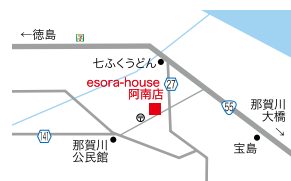
そんなとき、彼の親友から家を建ててほしいとの依頼があった。「彼から、今住んでいる家が寒いくん、断熱にこだわった家にしてほしい。もっといい断熱材はないの？」と言われたのをきっかけに、当時としては珍しい吹付け断熱材を取り入れました。また、そのときに初めて、住宅の隙間量を計測する気密測定の実行も知りしました。そうして完成した家は、うらやましいほど暖かいです(笑)。冬の必需品と言えばコタツだと信じていたのに、彼はコタツを出さずストーブ1個だけで快適に暮らしています。この出来事によって、家は建てたら終わり、できあ

がった家に合わせて暮らしていくものではなく、住まい手の暮らしやライフスタイルに寄り添う家を建てて、住み心地まで満足してもらわないとダメなんだということに気付かされました。我が家のように、仕方がない、我慢しよう、ではダメなんです。暮らしやすい、快適さを持った家を建てるには、住宅性能プラス設計力が必要だと岡本さんは言う。「住宅性能については親友の家づくり以降磨き続けてきましたが、まだまだ設計力を上げないといけないと感じて、7年前にアトリエ建築家とともに家づくりをするユエチヨに加盟しました。こうして、全国各地で活躍しているアトリエ建築家がプラン設計をして、エソラハウスが施工するという現在のスタイルができあがった。「アトリエ建築家はお施主様が望む住まいのカタチを具現化する力に秀でていて、さらに太陽光や通風、遮蔽など自然の力を取り入れてエネルギーコストを削減するパッシブデザインにも素晴らしいものがあります。設計のプロ、施工のプロの力が融合することで、本当に満足してもらえる家をご提供できるんだ」と確信を持っています」。

エソラハウス esora-house 阿南店

0120-129-109

阿南市那賀川町今津浦宮面13-1  
朝10時～夜6時  
水曜休  
「エソラハウス」で検索  
巻末地図J



エソラハウス esora-house アクア・チッタ店

0120-129-109

徳島市万代町5-71-4  
朝10時～夕方5時(要予約)  
水曜休  
「エソラハウス」で検索  
巻末地図●●



広いウッドデッキと中庭。シャボン玉をしたり、夏はプールをしたり。



シンプルかつモダンなデザインの外観。



ダイニングスペースの正面に位置するリビング。ぱっとみは分からないが、大容量の収納部屋が隠れている。



シンプルでおしゃれなダイニングスペース。キッチン横に造り付けのテーブルを設けて、使い勝手も◎。



ゆっくりと寛げるトイレ。平屋はトイレ1個が多いが、混み合うことを想定して2箇所に設置。



キッチン横に設置した洗面スペース。玄関から入ってすぐの場所にありとっても便利。



心にゆとりを生み出す広い玄関。リビングへ続くゲスト用とは別に、普段家族が通る動線も確保されている。

おしゃれで住みやすい  
平屋の家

◆徳島市・T様邸

定期的に開催している「後悔しないための賢い家づくり勉強会」に参加し、家の構造や性能について学んだことを機に同社との家づくりがスタートしたT様。営業担当の一宮さんのフランクで話しやすい人柄と、アトリエ建築家がプランニングしてきた数々の家の施工例に惹かれたのが決め手となった。「建築家のプランニングはすごい！想像もしていなかった間取りを提案してくれました」。憧れだった平屋の家は、キッチンを中心に実際よりも広く感じられるアイデアが詰まった空間に。「キッチンから中庭で子どもたちが遊んでいる様子を伺えるのがいいですね。また、住心地は抜群で、夏はエアコン1台で家全体が快適です。冬は暖かくて、子どもたちは裸足でも大丈夫です」と微笑む。「おしゃれで住みやすい家を作ってくれるのがエソラハウスさんの魅力！エソラのお客さんはみんな、自分の家が一番！だと思っているはずですよ(笑)」。

■徳島市・T様邸

竣工/2017年3月  
構造/木造在来工法  
延床面積/107.65㎡  
設計/アトリエ建築家・藤田撰  
施工/esora-house